

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年3月28日

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C	
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化					
地域重点政策	大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化					
実施機関	安曇野建設事務所			担当課	所属	整備課計画調査係
事業名	県土強靱化・逃げ遅れゼロ啓発事業				電話	0263-72-8308
					E-mail	azumiken-seibi@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	災害による人的被害をなくすため、警戒避難体制の構築や防災知識及び意識の向上により、住民主体の防災意識が高い社会の構築を目指し、県土強靱化・逃げ遅れゼロを目指す。				
	現状と課題	現状 ・砂防事業、堰堤等の防災インフラの存在、役割や効果の理解浸透が不足している。 ・土砂災害や水害時における住民等が抱えるリスク、避難方法の理解浸透が不足している。 課題 ・砂防等の事業実施に対する意識高揚、あらゆる関係者が協働して災害に備え、県土強靱化・逃げ遅れゼロの実現に向けた防災知識や意識の向上が必要。				
	内容 (変更後の内容)	・ 災害模型を活用した防災知識等啓発事業の実施 ・住民主導型防災マップ作成支援にあたっての地元説明をはじめ、市内で行われるイベント開催、現場見学、学校の防災教育等にあわせて、土砂災害の特徴や防災に関する情報提供の場を確保し、住民の防災減災に対する意識向上を目指す。 ・砂防事業の説明会や令和5年度に作成した防災インフラカード収集に来庁した方への砂防施設の効果説明に活用し、防災関係事業の理解向上を図る。 ・防災インフラカードの発行を周知し、カード配布に当たっては、クイズによる防災知識の向上を図るとともに、アンケートによる理解度等を把握する。				
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	災害模型を活用した防災知識等啓発事業	災害模型の購入	1,004,300	土石流対策模型514,800(@1基) 崖崩れ対策模型489,500(@1基)		
	合 計		1,004,300			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	災害模型を活用した説明の参加者数		200人	523人	● 達成	
	カード配布、受取人数		延べ1000人	2721人(R7.2末)	○ 一部達成	
	プレミアムカード受取人数		延べ400人	781人(R7.2末)	○ 未達成	
	防災・災害に関する知識・理解向上の割合(アンケート回答)		80%	92.8%(R7.1末)		
事業実績・成果	【実績】 災害模型を活用した防災知識等啓発事業 ・模型の活用について、建設事務所主催の学校教育等のイベントで7回318名(うち防災インフラカード配布時の説明は5名)、市内で行われるイベントで2回170名、公益事業への備品貸付で2回35名に対し、土砂災害の特徴や防災に関する説明を実施した。 ・防災インフラカードについて、市内来訪者(通常配布)、イベント参加者へ配布し、知識向上や防災施設の理解向上を図った。					
	【成果】 ・小学校の防災教育のアンケート結果から、参加した児童全員の理解を向上し、うち6割に対し児童の家庭内において話をする機会を促した。 ・カード配布のアンケート結果から、9割の方が防災に関する知識が向上した。また、アンケートを用いた対話を行ったところ自宅等の災害リスクないと回答した方のうち2割の方が災害リスクを改めて認識された。					
今後の方向性	防災教育を継続することにより地域の防災力向上を図るとともに、土砂災害対策の施設整備への理解向上により県土の強靱化を図る。					